令和８年度東京都図書館協会(TLA)総会・講演会 実施報告

１　総　会

日　　時：令和８年９月４日(金) 午後２時から３時まで

会　　場：東京都立中央図書館　多目的ホール

参加予定者：５０名

参　加　者：４３名（総会成立時は３９名）（委任状　４２９名）

次　　第

1　開　　会

2　会長挨拶　　井坂　誠（東京都立中央図書館）

3　来賓挨拶　　植松　貞夫　様（公益社団法人日本図書館協会理事長）

4　議長選出　　副会長　瀬島　健二郎（文化学園大学名誉教授）

5　報　　告　　令和７・８年度東京都図書館協会役員一覧　〔資料１〕

6　議　　題

第１号議案　令和７年度事業報告（案）　〔資料２〕

第２号議案　令和７年度決算報告（案）　〔資料３〕

第３号議案　令和７年度会計監査報告（案）　〔資料４〕

第４号議案　令和８年度事業計画（案）　〔資料５〕

第５号議案　令和８年度予算（案）　〔資料６〕

7　閉　　会

報告については質疑等の後、了承された。

第１号から第５号議案については質疑等の後、原案どおり承認された。

各議案における、質疑及び意見等は以下のとおり。

〇第１号議案　令和７年度事業報告（案）

Q　会計年度任用職員等図書館の非正規職員及び会員減少に対する取組状況はいかがか。

A　非正規雇用の問題は図書館界の重要な課題の一つと認識している。一方で、東京都図書館協会は会員相互の連携や図書館事業の振興を目的とする団体であり、雇用条件や人事制度に直接関与する立場にはない。理事会でも会則に基づき、職員等の処遇に関する要請行動等の事業は行わないことを確認済である。また、令和７年度第２回理事会においても、令和７年度に講演会を実施したこと、また当協会の会員構成及び目的を踏まえ、会計年度任用職員に関する関連事業は当面実施しないことを確認している。会員減少に関する特段の取組は実施していない。

Q　（総会資料 p.2　資料２）１（１）にある「第１号議案は、理事会で話し合われたことが分かるよう総会の実施報告に記し、協会ホームページに公開する」とはどのような対応を行ったのか。

A　当協会ホームページに「令和７年度総会・講演会実施報告」を公開済であるが、この別紙として理事会における検討状況が分かるよう「令和６・７年度　東京都図書館協会　理事会議題（会計年度任用職員関連検討状況について）」を付して公開している。

Q　参考意見として申し上げる。総会の開催通知に会報発行の記載があるとよい。また、総会出席者には会報を印刷配布するとよい。

○第２号議案　令和７年度決算報告（案）

Q　繰越金の減少理由として研究グループ助成金の支出を挙げているが、これにより繰越金の水準に達しなかったと捉えているのか。

A　研究グループ助成金は適正な支出である。表現に注意する。

○第４号議案　令和８年度事業計画（案）

Q　会計年度任用職員等図書館の非正規職員問題、施設会員の減少、図書館の自由に関する対応、望ましい基準に関する情報収集、この点への取組を求める。

A　ご意見として承る。

○第５号議案　令和８年度予算（案）

Q　会員数が減少しているのか変遷が知りたい。また、JLA 地域図書館団体活動費は会員数に影響を受けるか。影響を受けるならば会員増加の取組を求める。

A　一例として挙げると、令和５年度の会員数は、会員数 888、その内普通会員 563、特別会員 325 であった。JLA 地域図書館団体活動費は会費総額に応じて配分されており、会費総額は会員数に基づく。取組についてはご意見として承る。

Q　会員減少の要因はどのように考えているか。

A　（以下議長発言）理事会では討議していないが、会員数の減少に伴う JLA 地域図書館団体活動費の減少により現在の事業規模が徐々に維持できなくなっていくと認識しており、会報の電子化等運営の合理化を図り支出の抑制に努めている。

２　講演会

日　　時：令和８年９月４日(金) 午後３時１５分から午後４時３０分まで
会　　場：東京都立中央図書館　多目的ホール
テ　ー　マ：「図書館が拓く未来の学びと地域社会：文科省有識者会議報告書の意味するもの」
講　　師：松本 直樹 氏（慶應義塾大学文学部人文社会学科図書館・情報学専攻教授）
参加予定者：８８名（来賓１名含む）
参　加　者：７９名（来賓１名含む）

講演録及び配布資料は、別途東京都図書館協会ホームページに掲載する。